

「調整授業時数制度」導入後の円滑な制度実施に向けて、令和8年度より「調整授業時数制度」を先取りして試行する学校を「サキドリ研究校」として、332校指定。先行的に教育課程の柔軟化に取り組む68校の研究開発学校と合わせて全国400校で実践。
国として、サキドリ研究校等の取組を支援するとともに、知見の蓄積及び横展開に取り組む。

サポートマガジン『サキドリ』（文部科学省 授業づくりnote）

サキドリ研究校や先行的に教育課程の柔軟化に取り組む研究開発学校、教育委員会の取組を支援し、全国の学校関係者の参考となるよう、サポートマガジン『サキドリ』において、事例紹介を開始。

事例記事

サキドリ研究校の先生方にインタビューを実施し、学校として目指す子供の姿の実現に向けた調整授業時数制度の活用のプロセスや、その過程における悩みごとの解決に向けた取組、現時点の手応え等について紹介。

第1回

北海道知内町立知内小学校

【事例①】調整授業時数制度は学校として
目指す子供の姿を実現する"手段"として活用



第2回

神奈川県三浦市立三崎中学校

【事例②】中学校（教科担任制）における
調整授業時数制度の活用と工夫



第3回

鹿児島県出水市立鶴荘学園

【事例③】地域に根ざし、義務教育学校の強みを生かした
教育で多様な子供たちを包摂



文部科学省からの情報提供

サキドリ研究校一覧の公表

各教育委員会・学校で参考にしやすいよう、調整授業時数の活用方法の類型とあわせて、地域別に公表



情報交換会の実施

柔軟な教育課程の編成に取り組む学校の先生方や各教育委員会の指導主事などが、それぞれの立場から現状の取組や進め方の工夫、今後の展望、課題等を共有



サポートマガジン『サキドリ』

第1巻

次期学習指導要領において検討中の「調整授業時数制度」の運用に向けた柔軟な教育課程編成のサキドリ事例をご紹介します。

フォローする

上記リンクよりフォローすれば
最新記事をすぐに確認できます



<https://mext-curriculum-gov.note.jp/m/mf1416ca0365d>

来年度に向けた予定

令和10年度からの先行実施期間において、調整授業時数制度の実施を可能とする方向で検討していることも踏まえ、令和9年度は、追加募集を実施し、各市町村レベルでのモデル創出・知見蓄積が可能となるよう指定校を大幅に増加させる予定。

【7月22日総則・評価特別部会 取りまとめ（案） 抜粋】

- ・ サキドリ研究校について、今年度中に追加募集を行い、令和9年度においては大幅に実施校を増加させることで、各市町村レベルでのモデル創出・知見蓄積を加速する
- ・ 令和12年度以降の全面实施を待たず、令和10年度からの先行実施期間においても、現行の標準授業時数を基礎としつつ調整授業時数制度を活用できる方向で検討する